

大峰山脈：八経ヶ岳・山上ヶ岳

- ◆日程 2023年8月25日(金)～26日(土)
- ◆メンバー L：0T, 他1名

大峰奥駈道には2021年のGWにSDさんが6日かけて踏破している。その一端でも味わってみたいと、計画した。噂通り起伏に富むハードコースだった。(記：0T)

8月25日(金) 天候：晴れ時々曇り
 前夜 YCAT 発のバスと近鉄と路線バスを乗り継いで天川川合に9:45着。吊り橋を渡り、住宅街を抜けて登山口へ。樹林帯の長い登り。湿気はあるが思ったより涼しい。弥山小屋に着くと平日のため小屋泊1組とテント泊の僕らだけ。国見八方視近くの平坦な芝生にテントを張り、空身で大峰最高峰の八経ヶ岳登頂。が、山頂は霧で視界ゼロ。テントに戻ると夕景の雲海上に八経ヶ岳の姿。外テーブルで食事中に鹿が姿を現し、悠々とそらの草を食んでいた。ここでもシカの食害は深刻だ。

- CT：天川川合 10:00-栃尾辻 12:30 - 弥山 15:30 - 八経ヶ岳 16:45 - 弥山小屋(幕営) 17:15

8月26日(土) 天候：晴れ時々曇り

翌朝予定を早めて3時出発。暗い中、300mの下降後、日の出で明るくなった頃に稜線。笹が優勢のため、夜露がズボンにまとわりつく。暫く進んでからレインパンツを履いたが靴の中まで濡れていた。国見岳付近の岩稜では岩が濡れて滑り易いので気が抜けない。長いアップダウンに気力体力を削られた後、大峰本山とされる山上ヶ岳着。山頂からは素晴らしい展望。宿坊や西ノ視などを横目に長い下山路を経て洞川温泉へ。入泉後、鮎塩焼定食で乾杯。

- CT：弥山小屋 3:00 - 行者還岳 6:45 - 国見岳 8:50 - 山上ヶ岳 12:25/12:45 - 洞川温泉 15:50

